



考察

肯定的な評価が16項目中、14項目でアップし、2項目でダウンしていました。

全体として、「③宿題をやっている。」、「⑥日直や、係の仕事や、そうじを進んでやっている。」、「⑧友達と仲良く生活できる。」、「⑫交通ルールを守っている。」、「⑬地震や台風がきたときに、どうすればよいか知っている。」は特に高い評価でした。

一方で、「⑦放課には、外で遊んでいる。」、「⑪自分のよいところがわかる。」、「⑭地域の行事や活動に参加することができた。」は低い評価でした。

外遊びについては、昨年度より4%減です。外遊びのよさを伝え、励行していますが、屋内で過ごしたい児童も一定数います。一人一人の気持ちを大切に指導・支援している結果だと捉えています。地域行事については、コミュニティ・スクールや半田市、成岩四区や協和区の行事に児童が参加する児童も増えてきています。3年生では、成岩4区獅子保存会の方と学習し、「大獅子小獅子の舞」を発表したように、地域の伝統からそのよさを学び、半田が好き、成岩が好きな児童が育ってくれたらと願って取り組んでいます。

「⑪自分のよいところがわかる。」、「⑮将来の夢をもっている」は本校が長年取り組んでいるキャリア教育に関連するところです。夢をもつことの数値が高い一方、自分のよさにはまだ気づけていない子がいることが分かりました。キャリアパスポートを継続的に記入し、自分自身を振り返るだけでなく、互いのよさや自分のよさに気づけるように、毎週水曜日の朝の「成っ子タイム」に行っているアドジャンやアサーショントレーニング、授業の中での学び合い、ペア学年との交流など他者とかかわる取組に力を入れていきます。